

注) 当時、クエン酸がシャボン玉石けん社の商品になかったため、パウダーリンスのご紹介になっていますが、成分はクエン酸そのものです。

2015年秋～クエン酸もお取扱い開始しています。(157号参照)

おきさちさんのコラム

ナチュラルクリーニング

〈今回使ったアイテム〉

- 重曹
- シャボン玉パウダーリンス



その 12 「加湿器や電気ポットの頑固な汚れをラク～に落として、気持ちのよい新年を」

毎年やってくる大掃除！大掃除をするのは本当は春や秋がおすすめですが、冬ならではの頑固な汚れもあります。そろそろ出しているおうちもあるかしら……。それは加湿器です。

我が家は衛生面を考えて、スチーム式を使用していますが、これはやかんをストーブに乗せているのと原理は同じ。水を沸騰させているので内部に蒸発できないカルキ汚れがとにかくたまります。電気ポットの内側の水垢と一緒にですね。白っぽくてガリガリした石のような汚れは、水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分なので、ホントは汚いものではありませんが、塊になってしまつと落とすのは結構大変です。毎月お手入れすれば楽に溶かすことができます。



スチーム式の場合、浴室で換気扇を回しながらがおすすめ。その後の水垢取りにクエン酸水を使いまわすときも楽です(右写真参照)。

購入時に、お手入れ用のクエン酸が付属していて、「なくなったら電気屋さんでご購入ください」と書いてありますが、なぜかとても高価です。「シャボン玉パウダーリンス」と同じクエン酸なのに、ですよ？市販のポット用のものは界面活性剤も入っています。はい、今年から「シャボン玉パウダーリンス」で加湿器と電気ポットのお掃除しましょう(笑)。

方法はとっても簡単。加湿器は説明書通り、加熱筒の中に、お水と「シャボン玉パウダーリンス」を小さじ2杯ほど入れて加熱し、冷めたら捨てます。溶けきれなかった汚れがあれば、「重曹」に歯ブラシをつけてこすって流すだけ(今回はスチーム式の場合です。ご自身の機種の説明書に従ってくださいね)。

電気ポットは最近「クエン酸洗浄」ボタンがついているものも多いですが、「シャボン玉パウダーリンス」大さじ1杯とお水を入れて沸騰させ、1時間後にボタンを押してお湯を出すだけ。管のつまりも解消し勢いが良くなります。クエン酸は蒸発しないので臭いはしませんが、蒸気と一緒に若干出るので、そばに顔を近づけたりはしないでください。

この洗浄後の熱いクエン酸水は、まだまだ利用できま

す。ヘアピンなどからついた浴槽のもらい錆にかけておくと茶色が無色になります。蛇口周りや、洗面器やひしゃくにかけても(熱すぎてプラスチックを溶かさないようにご注意)白い石けんカスや水垢汚れを一気に溶かせます。トイレに流せば、便器の臭いも尿石も酸と熱の力でさようならです。

大掃除はしたくないけれど、普段の掃除のついでにちょっと注ぐ、くらいならできますよね？というわけで今年も楽ちん大掃除(?)終了です。どんだけずばらなのよ……って突っ込みはなしでお願いします。



温かいクエン酸水をさらに使い回し。水垢にかけたり、トイレにかけたりして、溶けにくい汚れをゆるめます。



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、社団法人アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー

▶ 過去の掲載内容はホームページでご覧いただけます。

<http://www.shabon.com/column/>